

農校舍八月着工延期の責任を

追求しよう！

我々は、農学部校舎八月着工をめざして運動を展開してきた。しかし、現状を見るならず、教授会は、農学部再編はもとより我々の存在さえも無視していると考えざるを得ない。我々は八月着工延期の責任を明らかにすべく、質問状を教授会に提出した。我々は断固とした態度をもって回答を追求しよう。

質問状

貴農學部教授会は教育に責任ある立場にありながら、再編の精神にのつとり具体的に保障するところの農學部校舎第一期前半分の實質的着工がなされていかない現状に於いて、共同溝新設、圖書館、學館第一期等々の関連に於いて、どのように考えられ対処されかたか、夏休み中の実質的運動を通じて明らかにしてほしい。

以上の点を具体的事実をもって詳細に明らかにされたい。

答
この解答については10月15日火曜日正午までに文書をもってお詫び下さい。

昭和四十一年十月十一日

農學部教授会殿

農學部學生委員長 斎藤 指雄

・農校舎四月完成を。
・後半期分の計画を明らかにせよ。

・図書館年内着工要求

・総合計画の基で学生に明らかにせよ。

10/14